



大町市キャラクター
おおまびよん

／お互いさまのまちづくり

第188号
平成29年 6月1日

社協 おおまち

住民交流の花が咲く

／ルディックウォーキング ー松崎まつば会ー



小地域福祉ネットワーク松崎まつば会では、4月から11月の毎月第1・3日曜日にルディックウォーキングを行っています。5月7日（日）は、12名が参加し、芝桜が見ごろの農具川と八重桜が満開の市民農園を通る約1時間のコースを歩きました。広報等で歩くことが大事と知ったのがきっかけで、この取り組みが始まって7年目。季節によって歩くコースを変え、景色とおしゃべりを楽しみながら、健康増進と住民交流の機会として取り組んでいます。



主な内容

- ◆大町市地域支え合い体制づくり協議会… 2～3 ページ
- ◆まちづくり支え合いフォーラム開催報告… 4 ページ
- ◆雪かき支援事業… 5 ページ

- ◆地域交流新たな広がりキーワードは「うた」… 6 ページ
- ◆社協の相談事業… 7 ページ
- ◆お知らせ 市民ふれあい広場参加団体募集ほか… 8 ページ

4月より活動開始!ーあったらいいなを形にするー

大町市地域支え合い体制づくり協議会

平成27年4月に介護保険制度が大きく改正されました。この改正で新設された制度の一つに「生活支援体制整備事業」があります。この事業では、市町村ごとに地域活動を把握し、地域づくりの推進役となる「生活支援コーディネーター」と、多様な主体の参画により、情報共有と連携強化を行い、地域づくりを推進する場、通称「協議体」を位置づけることになりました。この協議体の大町市版が「大町市地域支え合い体制づくり協議会」です。



この協議会は具体的に何をするの？



急激な超高齢化社会と、核家族化等の影響から地域関係の希薄化が進行する中で、高齢者支援だけでなく、障がいや子育て分野などが協働し、共生型の仕組みをつくる必要があるといわれています。

そのきっかけを作るのがこの協議会。4月に始まったばかりなので、まずはメンバーの意識の共有が必要と考えますが、国のガイドライン等を要約すると、次のとおり。

- ①地域の課題をメンバーで話し合い、発見する。
- ②地域課題の解決策を話し合い、計画を立てる。
- ③計画が決まったら、役割を決め、実際に地域づくり活動を行っていく。



協議会のメンバーは、どんな人になるの？



多様な分野が横の連携をもち、地域づくりを行う組織にする必要があり、福祉分野にこだわらない構成になっています。大町市では、次の選出区分により、以下のメンバーで2年の任期がスタートしました。

選 出 区 分	所 属	委員名(※敬称略)
中間支援組織	JA大北ふれあい課	田中 昌子
	北アルプス広域シルバー人材センター	帯刀 幸子
	大町市社会福祉協議会	丸山 和也
大町市連合自治会	大町市連合自治会	斉藤 浩
住民主体地域福祉を担う団体	ゆずり葉の会(常盤上一)	西澤 純子
	若葉会(宮田町)	縣 みえ子
	大町市老人クラブ連合会	鷲澤 徳司
生活支援サービス等に取り組む民間企業等	大町市商工会議所経営支援課	小日向まゆみ
	マックスバリュ長野県営業本部	船田 洋一
	NPO法人山里舎	山本 幸恵
保健、医療、福祉等関係団体	大町市北部地域包括支援センター	中村 守
	大町市南部地域包括支援センター	横澤いずみ
公募委員	個人	海川 美恵

第1回 大町市地域支え合い体制づくり協議会 が開催されました!

4月20日(木)、委嘱式と第1回協議会が、委員10名の参加により開催されました。会長にNPO法人山里舎 山本 幸恵さんが選出され、協議会のあり方や今後のスケジュールについて話し合われました。話し合われた内容の一部を紹介します。



協議会のルール、まずは意識の統一が必要

- 皆で話し合いをするには、一定のルールが必要。しかし、まずは委員全員が同じ意識をもつことが大事では？
- 今回、福祉分野だけでなく様々な分野の方がメンバーとなっているからこそ、この会の意義を理解し合い同じ方向に向かって進んでいかなければならないと思う。
- 全国各地で、このような組織が発足していて、参考になるところも多いと思うが、大町市版の組織を創っていきたいですね。
- メンバーがそれぞれ持っている情報を出し合い、共有していくことから始めては？



地域課題はいろいろ。まずは何かに絞って話し合いを

- 今回の介護保険制度改正で、一定のサービスが市町村独自のものとなった。つまり地域格差がでてきますよね。
- 大町市は車社会。車の運転ができなくなると急に課題が山積する人は多いと思う。
- 私の地区では、買い物が大変という課題の解決策の一つとして、公民館に移動販売車が来てくれている。ちょうど地域の体操教室の日に来てもらうようお願いしたからか、大盛況ですよ。
- 買い物については、メンバーに商工会議所やイオンが入っているので、何かいい解決策が皆で考えられればいいですね。
- 全部を一度に話し合うには無理がある。課題をある程度絞っていく必要がありますね。
- やはり「移動」に関する課題は大きい。どれだけ、どこに、移動したいのか、課題を整理して絞っていけば、解決策が見えてくるかも。

生活支援コーディネーターの選出

今後、地域づくりの推進役となる「生活支援コーディネーター」が、この協議会において選出されます。どんな人がどんな仕事を具体的にするのか、皆さんにも知っていただくため、「いいまち・おおまち地域支え合いフォーラム」が開催されました。詳しくは4ページをご覧ください。

住民主体の支え合い ～協議体と生活支援コーディネーターの役割～

5月13日サン・アルプス大町で、大町市と市地域支えあい体制づくり協議会が、「いいまちおおまち地域支え合いづくりフォーラム」を開催しました。昨年大町市が開催した「生活支援コーディネーター初任者養成研修終了者や自治会、公民館、老人クラブや社協など約80人が参加。講演では、NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長の池田昌宏さんより、平成27年度の介護保険改正のポイントや地域づくりのアドバイスをいただきました。内容の一部を紹介します。

講師
池田 昌宏 さん



(NPO法人 全国コミュニティ
ライフサポートセンター 理事長)

◆介護予防は地域づくりの副産物 —社会参加が一番の介護予防—

介護予防として、体操教室が全国各地で開催された。しかし体操や運動の嫌いな人は参加せず、十分な成果が得られなかった反省がある。

東京大学が千葉県で行った調査の結果、健康長寿のポイントの一番は「社会参加」ということが分かった。大事と言われてきた体を動かすことは2番目。高齢になり体の衰えが始まったから社会参加しなくなるのではなく、社会参加しなくなったから衰えるという負の連鎖があることがわかった。

お茶のみ会や犬の散歩など、家に閉じこもらずに少しでも外にでることが一番の介護予防。あなたの地域に出かける場所がありますか。要介護状態になっても出かけられる場所がありますか。そんな場所があるような地域づくりをしていくことが、介護予防につながる。

◆隣近所の自然な支え合いを知ろう —社会資源は開発より発見！—

私の地域では地域活動が活発ではないという人がいる。でもよく見てみると様々な活動が行われている。例えば老人クラブなどで花壇づくりをしているが、単に環境づくりだけでなく、そこが居場所づくりになり健康づくりにもなる。地域社会を木に例えると、枝葉の部分は公的サービス。大事な根の部分は隣近所での支え合い。最近は、公的サービスのウエイトが大きくなり、隣近所での支え合い活動が小さくなっているように感じる。枝葉ばかり大きくなり、根が細くなると木は倒れ、地域社会は成り立たなくなる。根を太くするためにまず、現在の根の状況をみんなで知っていくことが大切。

◆協議体と生活支援コーディネーターの役割 —発想の大転換—

協議体と生活支援コーディネーターは地域づくりのために生まれた。地域のプロは地域住民。地域づくりをするためには、地域のプロと専門職が一緒になって進めていかなければうまくいかない。これまでは、課題があればそれを埋めるサービスを開発してきた。しかし、サービスだけでは地域づくりはできない。専門職はもちろん、住民の皆さんも発想の大転換が必要。

協議体や生活支援コーディネーターは、専門職と地域住民のつなぎ役となる。だから、協議体は住民主体で話し合わなければならないし、それでなければ本当の地域づくりはできない。

まずは、地域を知り、発見していくことから始めましょう。

報告!

雪かき支援員派遣事業 —高齢者宅の雪かき—

皆さまのご協力 ありがとうございました

大町市では、12月～3月までの冬期間、高齢者宅等で除雪が困難な世帯を支援するために「雪かき支援員」を派遣する事業を行っています。

本シーズンも、多くの方に「雪かき支援員」としてご協力いただきました。大町市では、雪かきは毎年のこと。より多くの皆さまにこの事業を知っていただき、ご理解いただくため、雪かき支援実績について報告します。



◆雪かき支援を希望した世帯数は

●総世帯数 218世帯

●地区別

大町地区	平地区	常盤地区	社地区	八坂地区	美麻地区
118世帯	42世帯	39世帯	15世帯	0世帯 ※1	4世帯 ※2

※1) 八坂地区の雪かきは、シルバー人材センターで担っているため、本事業での実績は0世帯です。

※2) 美麻地区の雪かきは、基本シルバー人材センターで担っていますが、一部本事業にて支援しております。

◆雪かき支援員として登録いただいた方は

●個人登録人数 48人

●団体登録数 5団体

15人が新たに支援員として加わったほか、既存の地域団体の皆さんも、団体として登録いただきました。



◆雪かき支援回数など

●雪かき支援延べ回数

1,970回（昨年 1,277回）

●雪かき作業延べ時間

1,467時間（昨年 1,051時間）

1月に数日にわたる降雪があり、その分、支援回数、作業時間が昨年より増えています。



雪かき支援員との意見交換会を開催!

雪かき支援期間が終了した4月7日（金）、ご協力いただいた雪かき支援員の皆さんと意見交換会を行いました。また、出席できなかった方からもアンケートとして意見をいただきました。意見交換会の内容について一部紹介します。

◆雪かき支援員をやってみて…

- 雪かきに行くたびに、「ありがとう」と感謝の言葉をいただき、とても張り合いになった。
- 雪が少なく、支援員として負担を感じることはなかった。自分の出来る範囲で今後も続けていきたい。

◆チームで雪かき支援をすると…

- 雪はいつ降るかわからない。1人が病気や冠婚葬祭等で雪かき支援ができなくてもチーム内でカバーし合い問題なくできた。
- 支援が始まる12月は出陣式。3月にはお疲れ会としてチーム内の交流を深め楽しんで雪かき支援ができた。

◆課題も多い…

- 通学路沿いや、デイサービス等を利用しているお宅は、早朝からの除雪希望があり、複数件担当していると対応が困難。
- この地域は、雪かきは生活の一部。サービスではなく、隣近所で当たり前のようには助け合えるようになれば良いと思う。

地域の交流 新たな広がり！

キーワードは「うた」

本紙では、毎回地域での様々な活動を紹介しています。地域活動の取材を通して感じているのは、お楽しみ会や三世代交流会、体操教室やサロンと言われる住民集いの会に加えて、「うた」をキーワードとした新たな講習の場が増えてきていること。

そんな「うた」をキーワードにした活動を紹介します。

※すでに本紙で紹介した活動も含みます。

俵町「歌声会」

毎月第1、3火曜日の午前中、俵町公民館で開催されている歌声会。歌集を見ながら、CDをかけ、みんなで歌います。



大新田町「歌声喫茶」

中信健康友の会主催、こだまカフェ協力により、4月22日（土）大新田町公民館で、市内出身のアコーディオン奏者 新井 幸子さんを招き、歌声喫茶が開かれました。当日は約20名の住民が集い、懐かしい歌謡曲やみんなが知ってる童謡唱歌などアコーディオンの生演奏で歌声が響きました。



アコーディオン奏者の新井幸子さん（高根町出身）



開催当日は、公民館が歌声喫茶しながら。途中お茶休憩をはさみ、時間があっという間に過ぎ去りました。



カラオケ交流会

西原「南山会」



月2回、公民館で開催。
※社協報第184号 H28. 10. 1掲載

十日町「つくしの会」



月2回、市内カラオケ店で開催。
※社協報第177号 H27. 8. 1掲載

東中原町「東水会」



月2回、公民館で開催。
※社協報第187号 H29. 4. 1掲載

平サロンのカラオケ発表会

平成28年11月17日（木）、平公民館で、老人クラブ主催によるカラオケ発表会に公民館共催、地区社協協力による平サロンを合同開催しました。老人クラブ会員やカラオケ同好会メンバーだけでなく、民生委員の皆さん協力により、平地区の皆さん参加により、多くの方来場いただきました。



歌声も衣装も皆さん素晴らしかったです。



大勢の方参加により、大盛況のうちに開催できました。



一人で悩むよりもまず相談！

社協の相談事業

お気軽にご相談ください

事前予約にご協力ください

心配ごと相談・司法書士相談

日々の暮らしの中の大小の悩み事について、解決の糸口を相談者と共に見い出していく相談窓口を開設しています。複数の相談員で相談に応じます。お気軽にお電話ください。

大北地域心配ごと相談日程 6月・7月

期 日	時 間	内 容	担当者	会 場	問い合わせ
6月	6月12日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談員	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501
		13:00~15:00	司法書士相談		
	6月26日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談員		
		13:00~15:00	司法書士相談		
	6月13日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544
	6月27日(火)				
	6月7日(水)	13:00~15:00	生活全般 行政相談	ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000
	6月1日(木)	13:00~16:00	人権相談 心配ごと相談	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72-7230
7月	7月10日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談員	大町市 総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501
		13:00~15:00	司法書士相談		
	7月24日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談員		
		13:00~15:00	司法書士相談		
	7月11日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544
	7月25日(火)				
	7月5日(水)	13:00~15:00	生活相談 人権擁護相談	ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000
	7月5日(水)	13:00~15:00	法律相談	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72-7230

長野県・大町市生活就労支援センター「まいさぽ大町」

生活や就労で困っている皆さんの相談窓口を開設しています。

日程 月～金曜日（土・日曜日、祝日を除く） 8:30～17:30



北アルプス青年後見支援センター・日常生活自立支援事業

障がいのある人や高齢者で、ご自身で判断することが難しく、日常生活や財産管理で困っている皆さん。各種制度の活用や金銭管理のお手伝いをします。

相談日 月～金曜日（土・日曜日、祝日を除く） 8:30～17:30



参加団体募集！

一緒に盛り上げよう！「市民ふれあい広場」

障がいのある人もない人も、子どもからお年寄りまで、全ての人が集まって交流する「市民ふれあい広場」に参加しませんか。多くの団体のご応募をお待ちしています。

会場内ふれあいステージで発表いただける団体も募集します。

- 申込締め切り 6月23日（金）まで
- 問い合わせ 実行委員会事務局（市社協内）
TEL 22-1501

※応募者多数の場合は、参加内容等を考慮し選考させていただきます。



10月7日(土) 開催
会場：市文化会館前広場ほか

参加者大募集！

やまびこまつりを一緒に楽しみませんか

「お互いさまのまちづくり」を目指す社協では、『大町市社協連』として一緒にやまびこまつりに参加いただける皆さんを募集します。「踊ってみたいけど、一人で参加はできないし…」「昔はよく踊ったけど最近参加していないなあ」という皆さん、社協と一緒に大町の夏を楽しみませんか。

8月5日(土)開催

- 申込締め切り 7月21日（金）まで
- 参加費 1人100円（保険料）
- 申し込み方法 大町市総合福祉センター（社協事務局）窓口へ参加費を持参いただきお申し込みください。
※付き添いが必要な場合は、付添の人と一緒に申し込みください。
- 問い合わせ 大町市社会福祉協議会 TEL 22-1501



ふれあいの窓 善意の寄附をありがとうございます

【現金】 大町市食生活改善協議会……………11,562円	河合まこと会…………… 750,147円
大町市ソフトボール連盟……………51,400円	
【物品】 八坂地区社協…………車いす2台、シルバーカー2台	匿名……………パネルヒーター1台
大町市商工会議所女性部…………タオル、綿製品多数	竹村光吉……………紙おむつ多数
【使用済み切手等】 匿名多数	敬称略 平成29年3月16日～5月15日受け付け分

「社協 おおまち」へのご意見、ご希望、投稿など、皆さんの声をお寄せください。

〒398-0002 大町市大町1129 大町市総合福祉センター内

編集・発行：社会福祉法人 大町市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL22-1501 FAX22-7071

<http://www.omachishakyo.org/> E-mail soumukikaku@omachishakyo.org